

平成 23 年度 第 2 回 Mnet 放送番組審議会 議事録概要(抜粋)

1. 開催日時 平成 23 年 12 月 8 日(木) 10 時 30 分～12 時

2. 開催場所 CJ Japan 8F 大会議室

3. 出席者

(Mnet 放送番組審議委員) ■出席者(5 名) : 宮崎 則一委員長、宇佐美 彰彦委員、河本 直美委員、斉藤 大作委員、林 英樹委員

■欠席者(3 名) : 小安 輝子委員、鄭 義信委員、堀米 紫委員 (委員は五十音順)

(放送事業者側出席者) ■編成チーム長 パク・ソンホ、
マーケティングチーム宣伝広報担当マネージャー 佐藤圭之介、
編成チーム 編成制作プロデューサー イ・ドンス、
編成チーム 編成担当・事務局 蓮見治栄

4. 議題

(1) 報告事項

2011 年度改編についての案内、2012 年上半期編成方針

(2) Mnet Japan 制作番組視聴と審議講評

現在放送中の自社制作番組「JJ' s Mstudio #18」をご視聴頂き講評して頂いた。

(3) 視聴者意見報告

(4) 次回開催予定報告 2012 年 6 月 21 日(木) 予定

5. 議事の概要

〈番組の審議〉

・一視聴者、K-POP ファンの立場で言うと、この番組で日本と韓国のアーティストがコラボし新しい文化が生まれるというコンセプトは理解できるが、観客が日本のアーティストを観たいかというそれは疑問ではないかと思う。

今回は作曲家の方が出演されているがこのように普段 TV で見る機会がない方の出演はなかなかないので、そのような方が出演すると視聴者も喜ぶのではないかと思った。

・良く言えば勿体ない、悪く言えば不親切。出演アーティストに関する説明が何もない。説明があればそのアーティストについてよく知らない人が見てもわかりやすい。説明によってアーティストと視聴者の距離が縮まると思う。

韓国で撮影しているのか日本で撮影しているのか、説明が一つあると Mnet Japan オリジナル番組だということも視聴者に伝わって良いと思う。

オプションチャンネルなので韓流に興味がある人が見ているということはわかるが、視聴者に甘えてしまう部分は見直すと良いと思う。

・K-POPに興味がある人や、K-POPが好きでMnetに加入する人にはアーティストについて知っていることが前提になっているということも理解できる。

・まだK-POPについてはよく知らないので、ゲストに日本のアーティストが出演することで興味を持つようになると思う。番組が何を狙っているのかにより、出演者に関する構成もいろいろな方法があっただろうと思う。

・今日本で大ブームのK-POPも日本語で歌えばJ-POPになってしまうと思う。K-POPアーティストたちが韓国語で歌うと数倍かっこいいということをもっとアピールすると良いと思う。

・最初は韓国人アーティストが歌う日本語の歌を聴いていたが、やはり韓国語で歌っている方がかっこいいと思い、だんだん韓国語で歌っている曲を聴くようになった。そういう意味で、日本で制作するライブ番組があることは嬉しい。

〈Mnetに対する意見・感想〉

ーコアユーザーはどのような番組をMnetに望みますか？

日本のアーティストは必要ないと思う。日本でデビューしているアーティストは、地上波で日本語の歌を歌うことが多い。まだ日本でデビューしていないアーティストは当然韓国語の歌しか歌わないので、地上波ではなかなか見られない韓国語の歌で歌う韓国の歌手を見られるのがMnetだと思う。

日本でデビューしていないアーティストが韓国で活動する様子をもっと見たい。K-POPの情報を取ることができるチャンネルとして期待する。

ーK-POPと他のコンテンツを比較して、またMnetや韓流コンテンツの日本視聴者層についてどう考えますか？

最近放送されたMAMAがインターネットでも同時配信され、20万人が日本国内で視聴したというのを聞いた。インターネットの同時生中継は自分からアクションをして視聴する方法であり、かなり積極的なK-POPファンが観るのだと思う。Mnetを視聴していない潜在層を視聴者として獲得するために、番組の内容をさらに追求する必要があると思う。